

幾久しく

日本料理
大阪 浮橋



日本料理 大阪 浮橋

TEL.06-6347-1447 (店舗直通)

TEL.06-7664-1221 (予約センター)



ホテルグランヴィア大阪

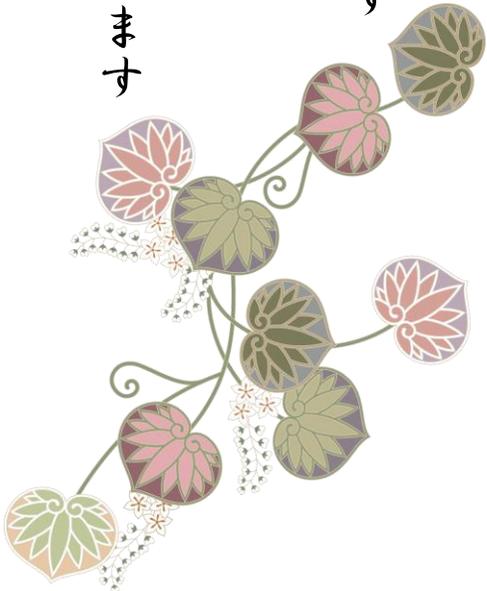
〒530-0001 大阪市北区梅田3-1-1

この度は誠におめでとうございませす

ご両家様にとりまして

最良の一日となりますよう

お祈り申し上げます



ご結納式（司会なし）

■ 当日の流れ

結納を行う前に結納品を飾ります

結納品は和室の場合は床の間やその前
洋室の場合はテーブルの上に飾ります。

向かって右側に男性側

向かって左側に女性側の

結納品を飾るのが一般的です。

結納品を飾られましたら

男性側が先に入室し、次いで女性側が入室。
参加者全員がそろったところで儀式を始めます。
儀式が終わるまでは挨拶や口上以外は
あまり口にしないように注意しましょう。

儀式は15分程度でございます。

【男性側父 始めの挨拶例】

この度は、〇〇家と□□家に素晴らしいご縁をいただき、
ありがとうございます。本日はお日柄もよろしいので
結納の儀を執り行わせていただきます。
どうぞよろしく願いいたします。 〈一同一礼〉

1. 男性側が結納品(目録)を女性側に納める
男性側母が正面飾り付け右側の「結納品(目録)と家族書を
のせた台」をとり、男性父の前へ運んで一礼。
元の場所へ戻る

【男性側父 口上例】

こちらは〇〇家より結納の品でございます。
幾久しく、お納めください。 〈深く一礼〉

男性父が「結納品(目録)と家族書をのせた台」の向きを変え
(時計回りに2回)女性父の前へ差し出す。

【女性側父 口上例】

只今は誠にご丁寧なお言葉を賜りましてありがとうございます。
尚その上結構なご結納を頂きまして、
厚くお礼申し上げ、幾久しくお受けいたします。〈深く一礼〉

2. 女性側が目録を改め、受書を渡す
女性父が「目録」を手にとって中を改め、母→女性本人へと渡し
全員で目を通し、新婦父が再び目録を直す。
女性側母は新婦父より目録を受け取り、正面飾り付け左側に
置き受書を新婦父の前に用意する。

【女性側父 口上例】

略儀でございますがよろしく願いいたします。
幾久しくお納めください。〈深く一礼〉

新婦父、受書の向きを変え(時計回りに2回)
新郎父の前に差し出す。

【男性側父 口上例】

ありがとうございます。幾久しく、お受けいたします。〈深く一礼〉
※受書は目録のように中を改めることはなくてよい

【結納返しがある場合】

女性側から男性側に同じように繰り返す

〈記念品の交換〉

新郎新婦は前へ出て記念品の交換を

【女性本人の口上例】

このたびは婚約記念品として、△△さん(新郎)から婚約指輪を
頂きました。改めて皆さんにお披露目させてください。

【男性本人の口上例】

このたびは婚約記念品として、△△さん(新婦)から腕時計を
頂きました。これから始まる結婚生活とともに、長く大切に使って
いきたいと思っております。

〔指輪をはめられた処で皆様拍手・写真撮影等〕

〈締め挨拶例〉

【男性側父の挨拶例】

本日は誠にありがとうございました。おかげさまで無事に
結納を納めることができました。
今後とも幾久しくよろしく願いいたします。

【女性側父の挨拶例】

こちらこそ、ありがとうございました。
今後とも、幾久しくよろしく願いいたします。

【新郎本人が挨拶をする場合例】

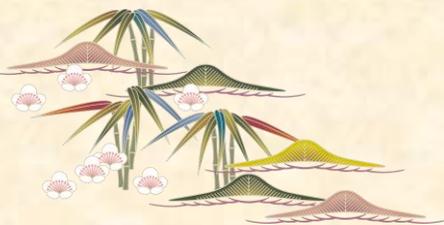
本日はわたしたちのために、このような席を設けていただき
ありがとうございました。2人でこれから力を合わせて幸せな
家庭を築いていきます。
今後とも温かく見守ってください。よろしく願い致します。

〈一同 深く一礼〉

祝宴



祝宴



■ 式次第（略式）

- 始めの挨拶
- 結納品の取り交わし
新郎側より目録を新婦側にお渡しする
新婦家より受書を新郎側にお渡しする
- 記念品交換
写真撮影
- 締め挨拶

ご結納式（司会あり）

■当日の流れ

結納を行う前に結納品を飾ります

当日は30分程ご用意と進行のご説明についてお時間をいただきます。

結納品は和室の場合は床の間やその前、洋室の場合はテーブルの上に飾ります。

向かって右側に男性側

向かって左側に女性側の

結納品を飾るのが一般的です。

結納品を飾られましたら

男性側が先に入室し、次いで女性側が入室、参加者全員がそろったところで儀式を始めます。

儀式が終わるまでは挨拶や口上以外はあまり口にしないように注意しましょう。

儀式は15分程度でございます。

【司会】

本日はお日柄もよく、ご両家様には誠におめでとございます。ただいまより、〇〇家様(男性側)と□□家様(女性側)との結納の儀をとりおこなわせていただきます。

〈一同一礼〉

それでは〇〇家様(男性側)より□□家様(女性側)へ目録のお渡しでございます。

1. 男性側が結納品(目録)を女性側に納める
進行係が正面飾り付け右側の「結納品(目録)と家族書をのせた台」をとり、男性父の前へ運んで一礼。
元の場所へ戻る

【司会】

〇〇様(男性父)ご挨拶をお願いいたします。

男性側の父 ご挨拶例

この度は、ご丹精にお育てのお嬢様をご無理申したにもかかわらず、ご承諾下さいまして誠にありがとうございます。こちらは〇〇家より結納の品でございます。幾久しく、お納めください。〈深く一礼〉

男性父が「結納品(目録)と家族書をのせた台」の向きを変え(時計回りに2回)女性父の前へ差し出す。

【司会】

□□様(女性父)ご挨拶をお願いいたします。

女性側の父 口上例

只今は誠にご丁寧なお言葉を賜りましてありがとうございます。尚その上結構なご結納を頂きまして、厚くお礼申し上げ、幾久しくお受けいたします。〈深く一礼〉

【司会】

(女性側に向かって)どうぞ目録をお改めください。

2. 女性側が目録を改め、受書を渡す
女性父が「目録」を手にとって中を改め、母→女性本人へと渡し全員で目を通し、新婦父が再び目録を直す。
進行は新婦父より目録を受け取り、正面飾り付け左側に置き受書を新婦父の前に用意する。

【司会】

続きまして、□□家より受書のお返しでございます。□□様、ご挨拶をお願いします。

女性側の父 口上例

略儀でございますがよろしくお願ひいたします。幾久しくお納めください。〈深く一礼〉

新婦父、受書の向きを変え(時計回りに2回)新婦父の前に差し出す。

男性側の父 口上例

ありがとうございます。幾久しく、お受けいたします。〈深く一礼〉
※受書は目録のように中を改めることはしなくてよい

〔結納返しがある場合〕

女性側から男性側に同じように繰り返す

【司会】

目録・受書の交換を終えましたところで、新郎新婦の二人には前にお出まし頂き、記念品の交換をしていただきます。

口上例 女性本人の口上例

このたびは婚約記念品として、△△さん(新郎)から婚約指輪を頂きました。改めて皆さんにお披露目させてください。

口上例 男性本人の口上例

このたびは婚約記念品として、△△さん(新婦)から腕時計を頂きました。これから始まる結婚生活とともに、長く大切に使用していきたいと思っております。

〔指輪をはめられた処で皆様拍手・写真撮影等〕

【司会】

これもちまして、〇〇家様(男性側)と□□家様(女性側)のご結納式は滞りなくあい済みしました。本日は誠におめでとございます。〈一同 深く一礼〉

祝宴



祝宴

